



SINKOU-YOMOYAMA  
Banashi

鬼滅の刃非公式ファンブック  
煉獄杏寿郎 × 猗窩座

つんた (よんでん。)

R-18



※ご注意ください※



公式様とは一切関係のないファンブックです。

煉獄杏寿郎×狛高座  
狛高座が分裂して2体になっています。

独自解釈による設定・パロディを含みます。

十八歳未満の閲覧を禁じます。

深更四方山話

杏寿郎

杏寿郎

来ていたのか

杏

ん、  
……

全く…鬼狩りが  
鬼と対峙すると  
言うのに

微睡んでいるとは  
大したものだな

杏

……  
任務が  
続いているな

今宵も君の同胞を  
斬って来たところだ

杏寿郎に  
斬られるとは  
その鬼

至福の最期だな

弱者が  
杏寿郎の手を  
煩わせるとは  
不快だ

杏



ああ、  
どうにも由々しき  
事態になって  
しまっとな

俺達では  
どうすることも  
できん



お前ならこの  
状況でも  
何とかして  
くれるだろう



それで？

ここに俺を呼び出した  
用件は何だ？

随分と  
窮しているとの  
事だったが



なにせ俺達が  
認めた唯一の男  
だからな



杏寿郎、  
頼む



俺達の  
相手を  
してくれ



お前なら俺達を  
同時に満足  
させてくれるだろう



なるほど!!



猗窩座が  
分裂して  
いるな!!





最近  
使われなくなった  
小屋だ



この山で  
花を探しながら

陽光から  
身を潜める  
には丁度良いと  
間借りしていた

水場も  
近いし  
鍛錬もできる

……

だが  
……この山



『出る』ぞ

あれは  
三日前の  
深夜の事

この山に来て  
間もなかったが  
その場所には  
薄々気味の悪さを  
感じてはいた

草木も  
生気がない

人間や  
動物の  
気配はなく

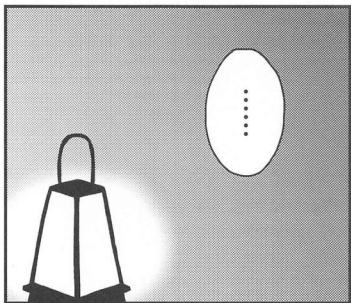
それでも  
念入りに  
花を探して  
いたところ

ふと何かの  
気配を感じ

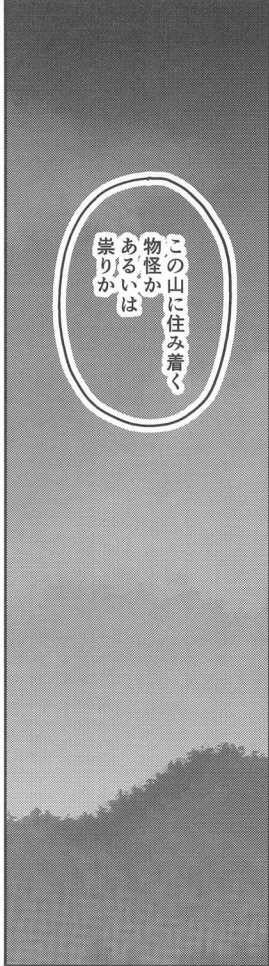
視線を  
向けると  
……

いや分からん。

今に至る。



この山に住み着く  
物怪か  
あるいは  
崇りか



それで  
結局  
どちらが  
本物なんだ？

この状況下で  
絶対に聞いては  
いけない事を  
口走る炎柱(二十歳)

俺だ！

見れば  
分かるだろう  
杏寿郎！

何を  
言ってるんだ

俺が本物に  
決まっている  
だろう！

よく見る  
杏寿郎！

お前は  
黙っている！

お前こそ  
何を言ってるんだ？

脳味噌が頭に  
詰まってる  
ないのか？

そこを退け！

お前が退け！





仕方ない  
……

満足するまで  
闘えば  
いいんだな？

鬼を前にして  
こう言う事のも  
おかしいが

俺は  
物怪や祟りなど  
信じられない

だが今実際に  
猗窩座は  
2体存在している

双方とも本意  
だと思ってる

「同時に満足」の  
理由も分かった

窮して  
俺を頼って来たの  
なら応えるのが  
責務だ

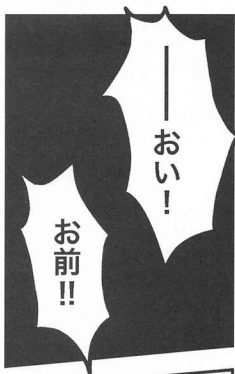
柱としても  
このまま君達を  
見過ごす訳には  
いかない

相手に  
なろう











はあ

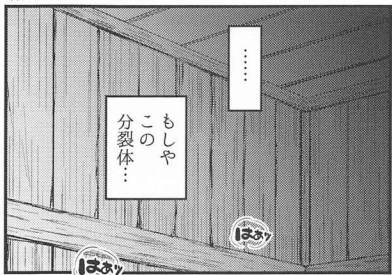


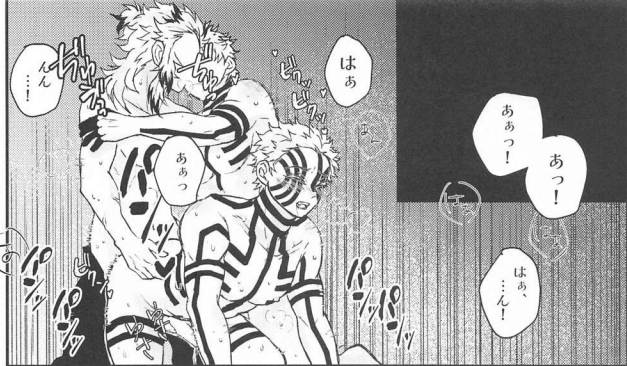
自分自身で  
あろうと他と  
争っている余裕は  
君にはないぞ



俺が  
「相手になる」  
と言った以上









そうか

では  
今度は  
こちらの君に  
挿れてみようか

ああああ！

ずんずん♡



はあっ

杏寿郎を  
感じるからっ  
……！！

いつも増して

そうではない  
杏寿郎！

質量もっ……！！

動きも激しく

これ以上は  
耐えられんっ  
……！！

ああっ

ぱんぱん♡

ぱんぱん♡



杏寿郎  
...!

このまま  
俺と共に...

達してしまう！  
杏寿郎...!

杏寿郎...!  
俺の中に  
注いでくれ!

お前は何を  
言っている!

お前は  
黙っている!

杏寿郎!

杏寿郎!

杏寿郎!

杏寿郎!  
俺の中に!

杏寿郎!  
俺の中に  
出せ!

あああ  
あああ!!





この  
由々しき  
事態で

有利なのは  
俺の方だった  
わけだが

とにかく  
騒がしいぞ  
君達…

杏寿郎  
やはりお前は  
素晴らしい

お前の闘気  
至高の領域に近い

身を持って  
良いものを味わった

思い残すことは  
ない

……  
はずなのだが

さすがは  
俺達が見込んだ男だ

ああ、  
百年以上  
生きようとも  
このような満ち足りた  
感覚は初めてだ

まだ  
だ

俺はまだ  
満足  
していない





物怪や崇り  
よりも  
恐ろしい  
男だ…  
♡



おかし

杏寿郎

来ていたのか

ん  
……

全く…鬼狩りが鬼と対峙すると言うのに

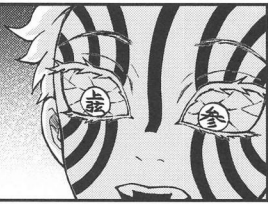
微睡んでいるとは大したものだな

おかし

……  
……

…おい、目を覚ませ

杏寿郎

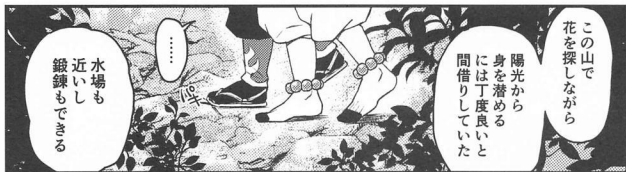






この先に  
最近  
使われなく  
なった小屋が  
ある

鬼の居る山



この山で  
花を探しながら

陽光から  
身を潜める  
には丁度良いと  
間借りしていた

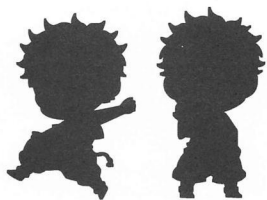
……

水場も  
近いし  
鍛錬もできる



しかし  
この山……

何かが  
『出る』ような  
気がするのだ



## 深更四方山話

—しんこうよもやまばなし—

りんた【よんてん。】

twitter/X :@rinta\_kmt

pixiv : 63031312

mail : rinta410@gmail.com

2023/10/28

印刷 くりえい社 様

表紙デザイン協力

浦門社一(@masasi9991)

読んで下って

ありがとうございました!!

りんた



kimetsu no yaiba  
unofficial fanbook  
renxaka

rinta yonten.